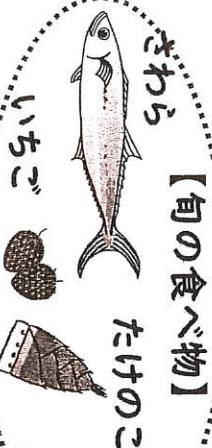


4月の給食だより

4月の
テーマ

学校給食を知ろう...学校給食の意義と目的



【旬の食べ物】



入学・進級おめでとうございます。令和4年度の給食が始まりました。みなさんは毎日食べている「学校給食」についてじっくり考えてみたことはありませんか？学校給食には、単なる栄養補給のためだけでなく、学校教育の「生きた教材」としての意義や目的があります。それらを「食育の視点」として6つにまとめました。これらを理解し、3年間の給食を感謝の心をもっていただきますよう。

-時代とともに変化する学校給食の目的-

学校給食の目的は時代の変化に応じて変わってきました。しかし、前提として変わらないことは、子どもたちの健康と健やかな成長を願う気持ちです。こめられた思いをくみとり、毎日の給食の時間を充実したものにしましょう。

栄養の補給

明治 22 (1899) 年
山形県の小学校で、貧困児童の救済を目的に昼食が出される。(学校給食の始まり)

栄養の改善

大正 12 (1923) 年
文部次官通達にて、「児童の栄養改善」の方法として学校給食が奨励される。

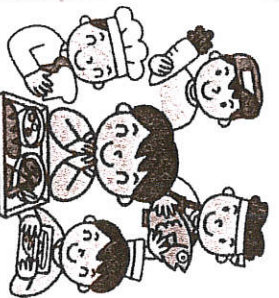
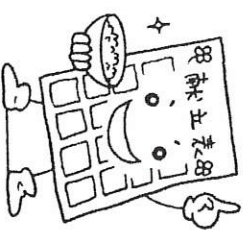
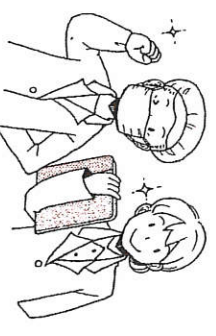
食のモデル

平成 17 (2005) 年
「食育基本法」制定。
平成 21 (2009) 年
「学校給食法」改定。

学校給食が
食育の中核と
位置付けられる

-身に付けて欲しい「6つの食育の視点」-

- 1 【食事の重要性】
食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
- 2 【心身の健康】
心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
- 3 【食品を選択する能力】
正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。
- 4 【感謝の心】
食べ物を大事にし、食料の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。
- 5 【社会性】
食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
- 6 【食文化】
各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。



今月は、学校給食の意義や目的について紹介しました。天理市では、給食がみなさんにとって「生きた教材」となるよう、栄養士が工夫した献立を作成し、調理員さんが心を込めて作ってくださっています。給食には、給食に関わる皆さんの人の愛情がこもっていること忘れず、感謝の気持ちをもって残さずいただきますよう。今年度も引き続き、感染予防対策を取りながらの給食時間となりますが、安心しておいしい給食を食べられるようみんなが協力し、楽しい思い出をたくさんつくりますよう。1年間よろしくお願いたします。